

実習先名称 : 細見工業株式会社

実習部署 : 営業推進部 製作部 総務部

実習期間 : 令和3年7月26日 ~ 8月11日 (実働10日間)

実習テーマ : モノづくりの楽しさを知る

### 1. 志望動機

私が実習先を志望した動機は、ディスプレイ業界とは、主な事業内容はなにかと興味が湧いたからである。将来は、品質管理職へ就職を志望しており、実習先では様々な部署での業務を経験し、現場を学びたいと考えている。細見工業株式会社は的確な品質の製品づくりと確実な納品を目的としており、自社工場(図1)を持つため設計と製造が同じ場所で行える。その為、即座にお客様の要望に対応できるという強みが魅力的であった。



図1 自社工場の様子

### 2. 実習の目的

実習を通じた目的として、ジェネリックスキルに関してはコミュニケーションの活用法を学び、ある目標を達成するためのチーム能力を向上できるようにし、創造性、柔軟性を高め問題の発見および解決ができるようにする。テクニカルスキルに関しては、技術者スキルを学び専門的な業務遂行能力を高めるようにするという設定した。その理由は、自己分析と企業研究、さらに将来を見据えて必要不可欠であると考えたため。

### 3. 実習の内容

様々な部署で10日間、打ち合わせへの同行や現場作業の業務補助に携わった。具体的な業務内容は、製品の加工補助、自社の打ち合わせや取引先への打ち合わせの参加、業界説明会への参加、自主制作(スマホスタンド制作, Auto CADを使った図面作成, レーザー加工, バリ取り, 曲げ加工), 技術セミナー・品質マネジメント研修への参加, 完成品の見学(店舗, パブリックアート, 博物館)

特に技術セミナーにあたっては、大学で学んだ機械工作の知識や制作実習の技能を活かして業務にあたった。また、この過程では、鉄板の凹凸叩き戻し, 溶接加工(図2), 穴あけ加工に関して学ぶ機会があり、自ら技術に関する知識を質問・復習するなどして、さらなる技術の向上を目指した。



図2 溶接加工の様子

自主制作では他大学の学生と協力しスマホスタンドの制作を行った。デザインの選定から始まり、Auto CAD を用いて図面の作成、寸法の決定、レーザー加工の加工手順の決定をし、レーザー加工機で鉄板の加工を行った(図 3)。レーザー加工された鉄板のバリを取り、その後最後に曲げ加工を行った。曲げ加工では加工後に材料の角度が少し開くスプリングバックや展開寸法の調整を考慮する必要があった。これは手作業であったため先に試作を用いて合わせることで対策した。



図 3 レーザー加工の様子

#### 4. 実習の成果

私は、この実習経験を通じて自主制作に挑戦し、他大学の学生と協力することによってグループワークでのコミュニケーションの活用法を学ぶことができた。さらに、会社内での打ち合わせからは業務の流れを学び、事業報告や案件の進捗報告を行うことで納期に向けての優先事項を決めるなど打ち合わせの必要性が感じられた。

以上の経験を通じて私は、ジェネリックスキルの目標を概ね達成できたといえる。ただし、テクニカルスキルに関しては、残りの大学生活の中でより専門的な知識の定着が必要と感じ、技術者として今後必要とされる資格の取得を目指して勉学に励みたい。



図 4 スマホスタンドの完成品

#### 5. 実習先へのメッセージ

この度は、ご多忙の折、実習という貴重な体験をいただき、誠にありがとうございました。実習先の皆さまが業務に向かう姿を間近で拝見させていただけたことで、私に技術者として足りないものが見えてきました。そのためにも、今後は専門知識・技術を均等に身につけ、目指したい業界にとって必要な人材になれることを目標に尽力していきたいと思っております。またオフィスに会社の技術を組み込むという発想は驚かされ大変興味深かったです。実習経験により習得した専門的な知識や技能、社会人としての振る舞いなど今後さらに発展させ、就職活動にも活かしていきたいと念じています。短い期間ではありましたが、実習では本当に様々なことを学ばせていただきました。あらためて感謝申し上げるとともに、皆様を目標により一層努力いたします、

#### 6. 大学へのメッセージ

今後インターンシップ先を決定するときに上級生が体験させて頂いた会社様である場合、学内応募一覧に成果報告書を添付していただくとより企業様の魅力が伝わると思います。よろしく申し上げます。